

広報

しんじょう

3
2005

SHINJO PUBLIC RELATIONS No.567

ISO14001

14年7月認証取得



雪上かるた取り大会 (2月12日/新庄雪まつり)

- 克雪 楽雪 親雪2
- 市長と語る会8
- 財政再建の取り組み10
- 国民年金12
- 江戸だより/いきいき新庄人13
- しんじょう見聞録14
- 3月のお知らせ16
- 将来を見すえた人づくり18



新庄市ホームページ

<http://www.city.shinjo.yamagata.jp>

大雪と闘う

豪雪対策の主なもの

【新庄市豪雪対策本部】(2月13日現在)

- 雪害事故防止の市民への広報
- 雪崩発生危険箇所等パトロール
- 夜間排雪作業の実施
- 雪捨て場の確保(4カ所)
- 道路除排雪作業への市職員の動員延べ174人
- 水上がり応急処理37件/市職員の動員延べ435人
- 学校施設の安全点検
- 小中学校・保育所等の除排雪の実施ならびに避難路の確保
- 通学路の安全パトロールの実施
- 一人暮らし老人世帯等の雪下ろし51件
玄関前通路等除雪26件
- 生活保護世帯の雪下ろし11件
- 市施設の安全確保・除排雪



市民生活に大きな影響

今年の大雪は、一月上旬と一月末から二月にかけて山場がきましました。

特に、二月に入ってから連日の大雪に国・県・市道の除排雪が追いつかず、道路の通行止めや圧雪・堆雪による渋滞が発生。除雪機械・オペレーターなどの人員が不足し、県内他地域や県外からも借り入れ、対応に追われました。

家庭でも除雪・雪下ろしに追われ、作業中の事故が発生するなど市民生活に大きな影響が出ました。

交通と安全の確保のため市道除雪を最優先

除雪車が出動するのは、午前三時現在の降雪量が十センチ以上の場合です。

暖冬から一転して突然の大雪に見舞われた今年の冬。連日、市民総出の除排雪に追われました。市は、二月一日に豪雪対策本部を設置。交通の確保と雪害事故の防止を第一に全庁体制で対策にあたりました。もう一度、豪雪地新庄の克雪のあり方について考えてみましょう。

また、風雪により吹きだまりが発生し交通に支障が生じた場合や路面に輪だちが生じ交通が困難となった場合、積雪により道幅が狭く幅出し(道幅の確保)が必要になった場合などに出動します。市道の除雪は午前七時三十分までに作業が完了するよう努めています。

十六年度の市道の除雪路線は、延長二〇四、三キロ。主要幹線道路、バス路線、地域的に主要な道路・公共施設への道路などです。

除雪体制の主力は機械除雪。除雪車は、直営・委託合わせて八十四台。除雪路線は全面委託ですが、直営除雪として、主要路線の排雪作業や除雪により狭くなった道路の幅出しを重点的に行っています。

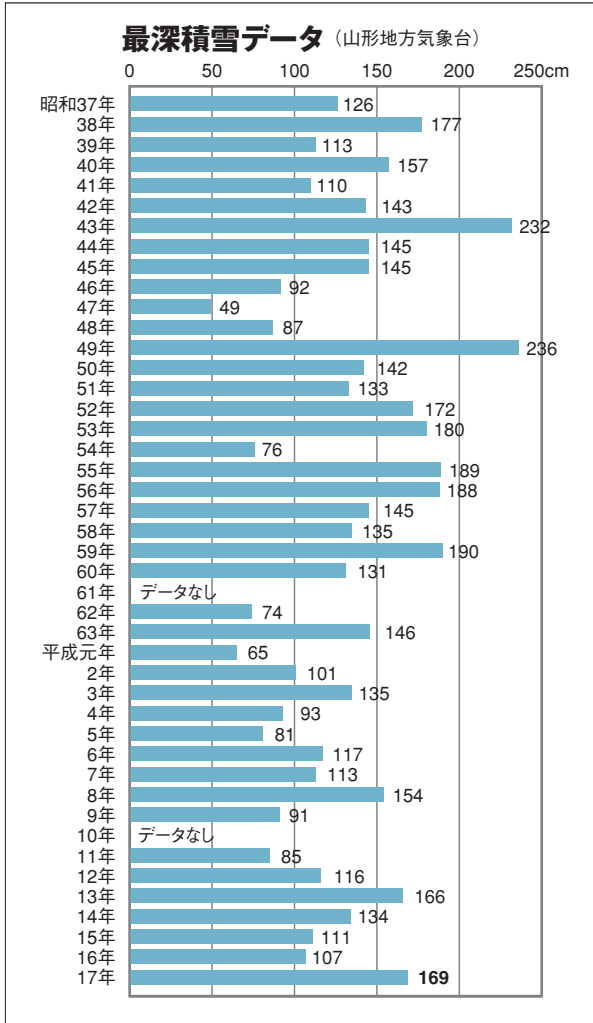
また、私道(生活道路)についても、沿線住民の協力を得て、四十三口(三三三件)の生活道路の確保に努めています。



圧雪と路肩堆雪のため交通渋滞



懸命に雪下ろし・除排雪



全職員体制で連日、除排雪・水上がり対応に動員

雪処理のマナー

- 敷地内や屋根の雪を道路に出さない
- 流雪溝には機械で投雪しない(水上がりの原因になります)
- 投げ終わったら流雪溝にふたをする

雪との闘いの歴史

新庄市で積雪観測が始まったのは明治三十五年。観測史上最大の積雪は昭和三年～四年と昭和十年～十一年の二五〇センチ。次いで昭和四十八年～四十九年の二三六センチ。最近では、昭和五十九年に百九十七センチを記録しています。

市は、昭和三十八年に国の豪雪地帯に指定され、国の補助制度のもと、機械除雪・消雪道路の整備などの雪対策事業を開始しました。

平成二年には総合雪対策基本計画を定め、克雪・利雪などの総

合的な雪対策を講じてきました。現在は、昨年三月策定した第二次総合雪対策基本計画に基づく実施計画により対策を進めています。

水源確保のため試験通水を実施

地域での除排雪の有効な手段となる流雪溝は、現在十九地区・約四四キロで管理組合のもと利用されています。流雪溝の水不足解消のため、十四年度と十五年度の二カ年度にわたり、最上川から取水し試験通水を実施。今年度は一月二十二日から二月七日までの間、小以良川ダムを活用した試験通水を行いました。これらの検証結果を踏まえ、確実な水源確保対策を進めていきます。

課題は流雪溝の整備と雪処理のマナー

雪を克服した快適な生活環境の整備のためには、広い道路を整備していく道路改良や流雪溝の整備が重要な課題です。また、投雪時間やルールを守り、水上がりなどの事態を招かないよう地区で互いに気をつけ、協力し合うことが何より必要です。



高校生も参加した除排雪ボランティア「最上スノーパスターズ」(2月11日)



一人暮らし老人世帯のボランティア除雪を行った建設業協会最上支部(2月7日)



仁間(高田橋)雪捨て場

雪を楽しむ

雪国の冬を思い切り楽しもうと
雪まつりが開催され、
多くの市民が新庄の冬を満喫しました。



第34回 新庄雪まつり

2月12日(土)～13日(日)／最上公園前広場

「ふみだせ夢のつもるまち」をメインテーマに

新庄青年会議所を中心とする実行委員会が運営。

雪上運動会や多彩なステージが繰り広げられました。

今年8月開催の新庄まつり250年祭をアピール(2月12日)



運営を手伝った高校生ボランティア



雪まつり前夜祭(2月11日／ゆめりあ)



新庄商工会議所婦人部による納豆汁振る舞い



今年のメイン雪像は古民家



雪像製作協力の陸上自衛隊第20普通科連隊の皆さん

「ふみだせ 夢のつもるまち」
来場者、延べ3万人!



スノーボールバトル2005



雪上すもう大会



雪上宝さがし

大人気のキャラクターショー

第2回 雪の里情報館雪まつり 2月12日(土)～13日(日)

石川町町内会・婦人会・成年会・子供会が作った雪像が出迎える雪の里情報館で、雪上ソフトバレーボール大会、歴史講演会、朗読会、民話語り、郷土芸能発表など多彩な催しが行われ、多くの市民でにぎわいました。



雪上ソフトバレーボール大会



民謡・カラオケ・舞踊合同発表会



元気に踊りを披露

雪に親しむ

新庄市スキー連盟や新庄民話の会など
市民愛好団体の運営協力のもと、
雪に親しみ冬を楽しむ行事を開催しました。



第4回市民スキー大会

2月11日(金) / 市民スキー場

今年小学生から一般まで四十四人がエントリー。
二本ずつ滑降して競技を楽しみました。

部門別優勝者

- 【小学生低学年男子】三浦 洸夢(沼田)
- 【小学生中学年男子】小田 良祐(沼田)
- 【同女子】吉田 美紅(新庄)
- 【小学生高学年男子】塚田 好顕(新庄)
- 【同女子】齊藤 美花(北辰)
- 【中学生男子】森 一貴(新庄)
- 【同女子】齊藤佳菜子(日新)
- 【一般男子】沼沢 稔(東山町)
- 【同女子】小嶋えみ子(萩野)
- 【シニア男子】吉田 博(松本)
- 【同女子】星川 満子(仁間)

第19回 みちのく民話まつり・冬語り 新庄語り文化フェスティバル

2月26日(土) / 新庄ふるさと歴史センター

どんび
すかんこ
ねえけど
...

むがす
とんと
あつたけど
...



こども語りの魅力

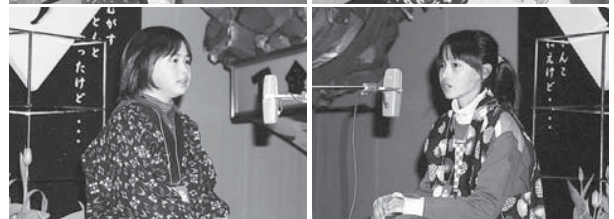
民話には、子どもたちが成長し自立していくのに必要な心構えや知恵がたくさん込められています。何世代にもわたり語り継がれ、今も数多く残る新庄の民話。10歳から82歳まで25人の語り手が「冬語り」を披露しました。

【第1部】語りに見る「笑い話」の世界

語り手(各民話クラブ) / 芳賀大介(本合海小)、中嶋彩(萩野小)、本間千聡(日新小)、大沼祥哉(昭和小)、笹原沙知(北辰小)、山科崇暁(泉田小)、地元語り部(新庄民話の会) / 鈴木久子、小山貞子、熊谷勝保、山科千代、伊藤妙子、ゲスト(秋田県・雄勝民話の会) / 高橋ヤス、藤原晴子、中川文子

【第2部】語りに見る「こころ話」の世界

語り手(各民話クラブ) / 松田桃依(萩野小)、多賀部健太(泉田小)、樋渡渚紗(本合海小)、高橋千明(昭和小)、遠藤桂花(北辰小)、地元語り部(新庄民話の会) / 鈴木敏子、渡部豊子、ゲスト(秋田県・雄勝民話の会) / 備前ムツ、鈴木賢治、本間智佐子、特別出演ゲスト / 庄司永建



会」を開催

皆さんの声を市政に

新庄市連合婦人会と新庄市女性団体連絡協議会の二つの団体と「市長と語る会」を市民プラザを会場に開催し、各団体の要望や提案について意見交換を行いました。会議に先立ち、市側から「行財政改革大綱」についての説明を行いました。

災害時の迅速かつ的確な情報提供の方法は？

災害発生時に適切に対応するには、被害状況を迅速かつ正確に把握し、市民に対して早くわかりやすく伝えることが重要です。

災害が発生した場合、市は、地域防災計画に基づき、市民の安全確保を最優先に、広報車や消防・警察車両を使った広報活動、徒歩での連呼・戸別確認、テレビやラジオなどにより情報を提供します。

しかし、一人暮らしの高齢者や在宅の寝たきり療養者・身体障害者・乳幼児など災害時における要援護者には情報提供と救護活動を同時にを行う必要があり、市は、安否情報の収集やケアについて「災害弱者支援チーム」を設置し対応するようにしていますが、隣り近所、地域の人々による救護活動に期待しています。

現在、市は県とともに、昨年の新潟県中越地震や豪雨災害を踏まえ、地域防災計画の実効性を検証しています。この中で効果的な情報伝達の方法について検証し、その結果を踏まえながら効

果的な情報の伝達体制を築いています。

【環境課】

未収金の回収対策は？

市は、市税などの未収金について、平成十六年六月から「歳入確保対策委員会」を設置し、歳入確保に向けた対策を講じています。

市税の中で未収金額が一番多いのが固定資産税です。長引く景気低迷から店舗や工場などが休業や廃止、倒産し、大きな固定資産を保有する事業所の滞納が累積未収金となり、市税滞納額増加の原因になっています。また、ここで働いていた人もリストラや休業などで職を失い、未納するケースも増えています。

未収金の回収策としては、滞納となった原因に応じて対応しています。また、納付能力があるのに滞納している場合は、強制処分として差し押さえなどを強化しています。

現在、市税など口座振替の加入促進を図っており、未加入者には個別訪問して勧めています。加入率を高め、納期内納付を促進する

ことが未収金増加を防ぐことにつながります。

今後、二十年度までの財政再建期間中、年度ごとに徴収率の目標値を設定し、組織体制や口座振替の促進、滞納処分の強化などを柱にきめこまかな対策を講じていきます。

【税務課】

職員の仕事への意識と対応の改善は？

職員の接客態度や仕事に対する意識高揚については、日ごろから努力をしていますが、今年度「接遇ハンドブック」を作り全職員に配布しました。また、七月から八月に「さわやか運動」を実施し、接客や電話対応について職員の意識を高めるとともに、市民の皆さんから意見をいただきました。いただいた意見は職員に周知し、改善に向け職員同士で議論しています。

年頭の訓示で市長は、「今年はいろいろな場面であっていいねい」に仕事をするように」と指示しました。仕事に慣れると「いいねい」を忘れることもありますので常に注意してまいります。

【総務課】

高齢者へのボランティア的協力員を養成しては？

高齢者支援としては、自立した生活を送ることができる人はそれを伸ばしていくことが大事です。日常生活での困りごとは自立支援のホームヘルパーやシルバー人材センターにより解決できることもあります。

ボランティアは、それ自体が自分の余暇活動を提供するものであるため急用が発生した場合にすぐに対応できる態勢をとることは難しく、ホームヘルパーや家政婦などの定期的なサービスを必要としない緊急時や急用時に対応するには、「町内のボランティア的な協力員」として、日常の見回り・



「市長と語る」

質問要望にお答えします

見守りの延長として行うことが最も望ましいと考えます。

心の通う近隣関係が構築できるように、高齢者のいつも近くにある近隣住民が相互扶助の意識をもって常に声かけや地域行事などへの参加を呼びかけるなど、実践行動が必要です。

そのため、地域福祉の推進役を担う社会福祉協議会は、ボランティア育成など活動の調整を図り、市も高齢者地域ネットワークのための施策を進めていきます。

【福祉事務所】

新庄まつり二百五十年祭をどう盛り上げる？

記念事業として、「山車人形の図録(六月発行)」「保存版ガイドブック(七月発行)」の作成、ふるさと歴史センターで「新庄まつり山車人形特別展(七月～九月)」、中心商店街を舞台とした「商店街賑わい創造事業(七月二十三日・二十四日)」「新庄まつり二百五十年祭記念パレード(八月二十七日)」を計画しています。

賑わい創造事業は、七月二十三日に「新庄まつり二百五十年祭オ



ープニングイベント」として、幼稚園・保育所園児による「ちびっこ山車まつり」を中心に開催します。

また、史上初となる四日間にわたり、新庄まつりを行うことでよりたくさんの方に観覧していただく」と計画しています。

その他、山車を引いてみたいという観光客の要望に応えるために観光客体験事業や、小学生による「ぼくらが選ぶ夢山車二百五十年大賞」の表彰なども行います。

【商工観光課】

庁舎内の室温設定など市の経費削減策は？

市は、平成十四年にISO14001環境マネジメントシステムの認証を取得し、目標数値を設定しながら、省エネ・省資源の取り組みを行っています。室内温度は、全庁舎で夏季の冷房を28℃以上、冬季の暖房を22℃以下に設定しています。ただし、多くの市民が訪れる窓口がある課は、市民サービスに配慮しながら実施しています。

経費については、認証前の十二年度を基準とした場合、十四年度から十五年度までの二年間で千二百八十一万円削減できました。認証取得・維持経費三百二十九万円を差し引くと九百五十二万円が削減の効果といえます。

今後とも市民の皆さんのご理解とご協力をいただきながら、省エネ・省資源の取り組みをより一層強化していきます。

【環境課】

子育て支援体制の早期確立を

市は、民間立認可保育所の新設

に伴う保育所入所定員の拡大や、市立保育所・民間立認可保育所での延長保育受け入れ時間の拡大、一時保育を行う保育所の拡大、屋内型児童遊園「わらすこ広場」の運営など、子育てに関わる保護者への支援施策の充実を図っています。

【福祉事務所】



このほか質問・要望として「郵政民営化と敬老会、道路・交通の危険防止、カーブミラーと一時停止線の新設、道路側溝ふたの設置、就労場所の確保、商店街の生き残り対策、市民認識度調査、議員定数・報酬の削減、道路や雪捨て場の除排雪、地域公民館の活用」が、提案として「ごみポイ捨てに対する罰則、保育・介護サービスの充実、ハラスメント相談窓口と支援システム、男女共同参画社会に向けた市の取り組み」などがありました。

困難な状況を乗り越え健全財政を維持するために

財政再建の取り組み

昨年7月に策定し広報8月号でその概要をお知らせした「新庄市財政再建計画」。

平成16年度から20年度までの5力年で集中的に財政健全化対策を進め、健全で持続可能な自治体経営を行っていかうというものです。

今回は、16年度における財政再建の取り組みの状況をお知らせします。

◆改革を徹底的に強化

市は、これまで財政健全化に向けて対策を進めてきましたが、十六年度予算編成において、国の地方財政計画により歳入の根幹である地方交付税が前年度比で十二％削減されました。本市への影響額も六億円にのぼり、かつて経験したことのない厳しい財政運営を強いられることとなりました。

中期財政試算では、特別な対策を講じない限り十六年度から大きな財源不足が生じ、二十年度までの累積赤字は三十四億円に上る試算結果となりました。

このため、昨年七月、「財政再建計画」を策定し、健全化に向けて集中的に取り組んできました。その結果、十六年度については、赤字を出さずことなく乗り切れる見込みです。市民の皆さまのご理解とご協力に感謝申し上げます。

しかしながら、依然として厳しい状況に変わりはなく、引き続き財政再建計画に基づき取り組んでいきます。

◆財政再建への基本戦略

● これまでも人件費や事務執行経

費などの内部管理経費を削減してきましたが、さらに厳しいレベルで経費を削減します。

● 限られた財源で最大の効果をあげるため、事務事業の優先度、行政関与の妥当性を検証し、サービスの最適化を図ります。

◆取り組みのポイント

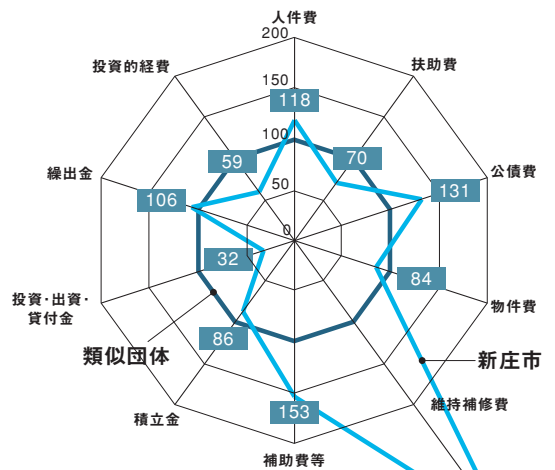
● **人件費の削減**
財政の構造上、他市に比べ支出の割合が高い人件費・公債費と、補助費等（ほとんどが最上広域組合分担金）の削減をポイントに財政再建を進めています。

● **給与の削減**
人件費とは、市長、助役、収入役、教育長や一般職員、さらに議員、非常勤特別職の報酬、給料、各種手当、共済費事業主負担分、退職手当組合負担金等の総称です。

● **職員数の削減**
市長の期末手当七十七％カットをはじめ一般職員、議員等の給与カットにより十六年度単年度で一億二千万円の削減となっています。

● **職員数の削減**
給与とともに職員数も削減し、

類似団体比較（平成14年度決算構成比）
全国類似団体を100とした場合の比較



※維持補修費が飛びぬけて多くなのは、除排雪経費が多いからです。

● **公債費の削減**
人件費全体を削減しています。十六年度は五人の退職に対して一人の採用にとどめ、さらに十七年度は十六年度末の退職者が十五人いますが補充しません。

● **公債費の削減**
公債費とは、学校、市営住宅、道路などの施設建設時に財源として活用した市債（市の借金）の元利償還金をいいます。

● **公債費の削減**
新規の借入れを抑えながら、計画的に返済し、後年度負担の増にならないよう取り組んでいます。十六年度末の市債残高は二百二億四千万円となっており、この額は十一年度をピークに徐々に下がってきています。また、償還金（公債費）も

十五年度をピークに下がっています。

シリーズ 行財政改革

財政再建計画の詳しい内容は、市のホームページでも見ることができます。

◎詳しくは、財政課財政運営室へ。☎内線231・232

最上広域公債費純負担額(新庄市分)の平準化(百万円)

	平準化《前》	平準化《後》	効果額
H16	390	356	△34
H17	375	309	△66
H18	518	419	△99
H19	525	422	△103
H20	527	459	△68
計	2,335	1,965	△370

最上広域組合分担金の削減
最上八市町村が共同で消防、ごみ・し尿処理、ゆめりあの管理運営などを行っています。この広域事業においても行財政改革を進め、十六年度の新庄市分は十五年度に比べ一億三千三百万円縮減できました。

また、最上八市町村と山形県が出資して設置した「ふるさと市町村圏基金」の一部(市・県出資分)三億七千万円を活用して、今後大幅に増える広域公債費の市負担分を各年度に平均化(平準化)します。財政再建期間中においては表のとおり平準化し、当面の財政危機乗り越え策のひとつとします。

平準化分の三億七千万円は二十二年度から二十六年まで各年度で七千四百万円ずつの負担増になります。

◆今後の取り組み

地方財政計画では、十七年度の地方交付税は十六年度並みに確保されました。この背景には地方六団体が団結して財源確保のため国と協議を進めたことがあります。交付税が確保されたこともあり、新庄市の十七年度予算は十六年度のような混乱もなく編成作業が進められました。

しかし、国の三位一体改革では十六年度から十八年度までの三年間で国庫補助負担金の削減が三兆円、それに替わる税源移譲は二兆四千億円にとどまり、不足する六千億円については地方において事務の効率化や組織のスリム化により生み出すこととされています。

このような情勢から、今後、地方交付税は圧縮されると考えて財政運営にあたらなければなりません。状況に応じて財政再建計画を見直しながら、内部経費の削減・サービスの見直し・最適化を進めていきますので、市民の皆さまの一層のご理解ご協力をお願いいたします。

4月から市役所の組織の一部が変わります

市の組織をよりスリムで効率的にするため、4月から組織を見直します。

市民の皆さまにわかりやすく、不便をきたさないことを前提にして、複数課に共通する目標に向かって一体的に取り組む組織づくりを進めるものです。

具体的には、次のように課を再編します。

組織の見直し	
旧	新
(企画調整課 + 財政課)	→ 政策経営課
(都市開発課 + 建設課)	→ 都市整備課
(教育委員会管理課 + 学校教育課)	→ 学校教育課

● **政策経営課**の新設は、市の大きな課題である財政再建を着実に果たしながらも、必要な施策を確実に進めるため、企画調整課が担ってきた政策・施策の立案や事業査定と財政課が担ってきた財政運営や予算査定を一体的に行うための再編です。

● **都市整備課**の新設は、新たな投資が減少する中、今後の都市機能の整備をハード面に限らず、計画づくりから実行までを一体的に進め、既存の都市機能を最大限有効に活用したまちづくりを進めるための再編です。

● **学校教育課**の新設は、小中学校の教育振興については管理課と学校教育課2つの課が担当していますが、教育指導・施設管理など学校教育に関する事務を一体的に進め、効率化を図るための再編です。

この組織の見直しにより、市役所の課は、現在の24課体制から来年度には21課体制となります。

◎詳しくは、総務課行政改革推進室へ。☎内線215・218

4月から国民年金が次のように変わります

保険料が13,580円に

保険料が280円引き上げられ毎月13,580円になります。
 ※平成18年度以降も毎年280円ずつ引き上げられ、29年度以降16,900円で最終保険料として固定されます。
 ※各年度において、一人あたり賃金に変動が合った場合は、各年度それぞれ賃金変動率をかけた額が実際の保険料となります。

口座振替割引制度(早割)で

保険料が割引に

国民年金保険料を口座振替で納める場合、現在は翌月に引き落としになりますが、これを1カ月早く当月引き落とし(早割)にすると、保険料が月40円割引になる早割制度ができました。

※早割の申し込みはいつでも受け付けていますが、4月分の保険料から早割にするには3月20日ごろまでにお申し込みください。

口座振替でまとめて納める(前納)と

さらにお得に

さらに口座振替により保険料をまとめて納めた場合(前納)、例えば1年分をまとめて納めると、年間3,420円の割引になります。

※4月分から前納するには3月20日ごろまでにお申し込みください。

新たに若年者納付猶予

制度が創設されました

20歳代の被保険者(学生を除く)の方の場合、ご本人および配偶者の所得がそれぞれ基準に該当すれば、国民年金の保険料の納付が猶予される制度ができました。



ネッキーくん

※若年納付猶予制度の対象となる所得の目安は次のとおりです。
 単身世帯=57万円、夫婦世帯=92万円、4人世帯=162万円

申請免除・学生納付特例の所得基準が

一部緩和されます

扶養者控除がないため若者に多い単身世帯に厳しいものとなっていた保険料申請免除および学生納付特例の所得基準が、単身世帯を中心に緩和されます。

※目安は次のとおりです。

	全額免除	半額免除・学生納付特例
改正前	35万円	68万円
改正後	57万円	118万円

◎詳しくは、新庄社会保険事務所 ☎22-2050、市民課国民年金担当 ☎内線134へ。

なんでもQ&A

Q 新庄市のごみ袋は他の市より高いのでは？

A 新庄市では、ごみ指定袋の代金にごみ処理費用の一部を上乗せした「ごみ有料制」を採用しています。県内では、村山地区の一部、置賜地区、最上地区で採用されています。一方で、有料制をとっていない市町村もあるため袋代に違いがあります。

新庄市では平成11年度にごみ有料制を導入しました。それまでは、ごみの処理費用は、すべて市民の皆さんからいただいた税金でまかかっていました。しかし、使い捨て製品の増加によりごみ処理費用が増大し、環境への影響も大きくなってきていました。そこで、市民の皆さんにごみ問題に関心を持っていただき、ごみの減量化に取り組んでいただけるよう有料制を導入したのです。また、ごみ減量に取り組んでいる人とそうでない人との負担の公平を図るという意味もあります。

ごみ有料制は国も推奨しており、今後導入する市町村は増えると思われます。新庄市では、びん類・缶類・ペットボトル・紙パックは資源として無料で収集しており、昨年11月からは新たな食品トレー回収システムも始まりました。また、紙類・衣類・リターナブルびんは、町内会・子ども会などの資源回収に出していただくようご協力をお願いしています。

一手間かけていただくことでごみを減らすことができ、ごみ袋代の節約はもとより、資源保護や環境保全に貢献できることとなります。どうぞ、一層のご理解とご協力をお願いします。

◎詳しくは、環境課環境保全室へ。☎内線430

健康メモ

花粉症の予防はお早めに!

花粉症は、花粉によって生じるアレルギー疾患の総称で、主にアレルギー性の鼻炎や結膜炎が生じます。

花粉症はスギ花粉によるものが多く、今春は、全国的に観測史上1、2位を争う多さの花量量が予想されています。花粉症の人は重症化が、花粉症でない人も発症する可能性が指摘されています。花粉情報は、天気予報やインターネットなどで知ることができます。山形県では例年3月下旬ごろにスギの花粉が飛散しますので、早めに予防対策を始めましょう。

花粉症の人は、花粉の飛び始める2週間くらい前から病院で抗アレルギー薬の治療を始めるのが効果的です。

花粉の飛散が多いときは、外出を控える、外出時にマスクやメガネを着用する、家の窓や戸を開けておく、洗濯物を外に干さないなどの対策を行いましょう。外出後は、玄関口で服の花粉を払い落とす、うがいや洗顔、鼻をかむなどの予防も大切です。また、規則正しい生活やバランスのとれた食事を心がけましょう。タバコは粘膜を傷つけるので避けましょう。

花粉症の症状が現れたら、症状に合わせて点鼻薬や点眼薬の処方を受けるなど治療を行いましょう。

これまで花粉症でなかった人も、「鼻のムズムズ」や「目のかゆみ」などで「花粉症かな?」と思ったら、早めに医療機関で受診しましょう。

◎詳しくは、健康課健康推進室へ。☎内線513~516

御家老の江戸だより

開業十年目を迎えて

◆新庄藩江戸家老 鏡 弘道さん

(山形ラザリトリ都そば処出羽香庵店長)

早いもので平成十六年十二月一日、「山形ラザリトリ都」がオープン以来十年目に入りました。平成七年は神戸大地震、日本中を震撼させたサリン事件の発生と大変な年でした。この十年間、無我夢中でがんばってきましたが、あつという間の出来事に感じられます。

そば処出羽香庵もアンテナショップとして、テレビ、雑誌などで紹介され、すっかり東京での存在感が認められ、盛況な日々が続いております。

しかし近年、虎ノ門かいわいからの事務所移転が激しく、「ご承知のとおり丸の内、お台場、溜池、六本木ヒルズなどの高層ビルの建築によるものですが、わたしどもの店も多大な影響を受けております。文部科学省が三年後に三十八階建ての高層ビル二棟を建築するよう、現在工



事が進行中です。一時期、行政機関の地方分散など政府がいついたようですが、ますます東京一極集中が進んでいるように感じられます。高齢化がどんどん進み、少子化の問題と相まって、地方はますます過疎化が進むのではと心配しております。

先日、所用で山形に行ったのですが、昔と比べると中心部の人通りが少なく、県都でもドーナツ化現象が起きているのを感じました。わが故郷、新庄も同じと思いますが、何とか皆さんで知恵を出し合い、魅力ある安心できる町づくりを陰ながら応援しております。また、幸いなことに、わたしの店がある「山形ラザリトリ都」内の物産館に、新庄の名産くじら餅、納豆、煮豆、漬物などが売られており、懐かしく、おいしくいただいております。

この冬は例年になく大雪で大変なご苦労をされていると思いますが、がんばってください。新庄市のますますのご発展をお祈りしております。また、今年の新庄まつり二百五十年祭が四日間の開催と聞いておりますので、久しぶりに帰ろうかなと思っております。

いきいき 新庄人

新しいことに挑戦!

京野秀美さん(北町)

「どこまでできるか試してみたかった」と語る京野さんは、昨年10月に岩手県で行われた第42回技能五輪全国大会・広告美術職種に県の代表として出場し、敢闘賞を受賞しました。この大会は、23歳以下の若手技能者の技術の向上を目指し、3つの課題を2日間で完成させ、その芸術性と技能技術を競うものです。

「技能五輪のことを知ったとき、過去に父も同じ大会に出場したことがあると聞いていたので興味もあり、出てみたいと思いました。6月から県予選通過を目指し、看板のことを基礎から父に教えてもらいました。8月に県予選を通過し全国大会への出場が決まってから大会に向けて一生懸命練習しましたが、当日は緊張してなかなかうまく描くことができずに時間ばかりが過ぎてしまいました。しかし、参加者の作品を見ることでその感性に触発され、いい経験になったと思います」と京野さんは大会を振り返ります。

「わたしは、今年3月に専門学校を卒業したら家業の看板屋を継ぐつもりです。幼いころから絵を描くことが大好

きで、祖父や父の仕事をする姿を見て育ってきました。だから家業として祖父が始めたこの仕事を父の代で終わらせず、わたしもやりたいと思いました。

看板なんてだれでも簡単に描けると思っていたのですが、初めて手で書いたとき、ただ一本の直線を引くことさえできず、ペンキの濃さの調整も難しく筆が進みませんでした。父からは「これは経験がものをいう。何度も練習を重ねるしかない」と教えられましたが、この仕事が好きなのでがんばれるし、まったく苦になりません。

最近は機械化され、手書きで看板を作るよりコンピュータの画面の中でデザインされたものを大型プリンターで出力し張ることが多くなってきました。でも、わたしはこのような時代だからこそ、看板屋の原点ともいえる手書きにこだわりたいと思います。手書きとコンピュータグラフィックの融合を目指し、看板だけにとらわれない新しいことに挑戦していきたい、そして、自分にしかできないものを作りたいと思います」と語る京野さんの瞳は、夢に向かって輝いています。

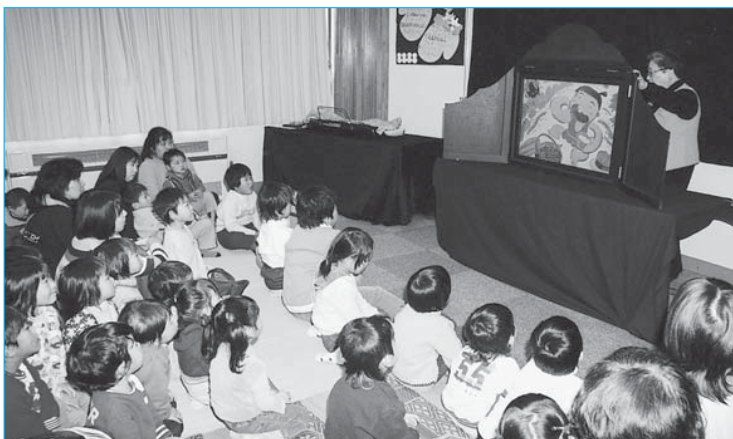


聞 録

季節の話題・市政の動き・催しなどを紹介するページです



▲長寿100歳を迎えた笹さんにお祝いを贈呈(2月8日)



▲大型紙芝居などが行われた「こどもふゆのつどい」(2月5日/市立図書館)



▲多くの人でにぎわった第4回100円商店街(2月13日/北・南本町商店街)



▲「北国から発進の会」主催の雪国シンポジウム(2月5日/雪の里情報館)



▲災害医療などについて学んだ雪国地域医療講演会(2月20日/雪の里情報館)



▲女も男も“わいわい”フォーラム(2月13日/市民プラザ)

長寿100歳のお祝い

笹ツルヨさん(明治38年1月17日生まれ)が満100歳を迎え、市からお祝いを贈りました。笹さんは、若いころから農業にいそしみ、歌が大好き。自由を愛し、自分の意志を貫く強さが長寿の秘訣とのこと。今年1月からは、病院で療養しています。平成9年に制定された長寿祝いを受けた方は笹さんで14人目、今年度は4人となりました。

こどもふゆのつどい

市立図書館で「こどもふゆのつどい」を開催しました。ガールスカウト、「かやのみ会」、図書館職員が次々に披露する大型紙芝居やパネルシアター、落語紙芝居、絵巻絵本に子どもたちは大喜び。物語の世界に引き込まれていました。また、高校生による折り紙教室も好評。子どもたちは、冬のひとつきを心豊かに過ごしました。

北国から発進!

「雪国文化の地平を拓こう」を合言葉に地域おこしの知恵を学ぼうと始められた雪国シンポジウムも今年で16回目。パネラーとして参加した大泉満佐子さんから「その土地の素晴らしさは住む人でわかる。自分の地域に誇りを持つことが大事。地域・家族・夫婦でも協力し合い共生しなくては自立できない」と相互理解と役割分担の大切さが述べられるなど、活発な意見交換が行われました。

一人ひとりが輝けるまちに

男女共同参画の視点からまちづくりを考えようと「女も男も“わいわい”フォーラム」が開催されました。朗読劇の後、「一人ひとりが輝けるまち」をテーマにパネルディスカッションが行われ、「家族の協力で仕事充実し優しくなった」「男女にとらわれずやりたいことができる社会にすることが今の大人の責任です」と意見発表や提言がありました。



新庄のひなまつり展

旧城下町の新庄には古くから伝えられてきた雛人形や雛道具が数多く残っています。会場のふるさと歴史センターには、享保雛・古今雛などの段飾り、土人形、錦絵などがきらびやかに飾られています。4月3日(日)までの開催。(入館料/大人300円、休館日/毎週火曜日・祝日の翌日)



▲“新庄のおひなさま”がにぎやかに勢ぞろいしている「ひなまつり展」(2月2日～4月3日/ふるさと歴史センター)

栄光をたたえて

■あじさい表彰【教育文化振興関係】

森美里(新庄南高)=税作作文
後藤未来(沼田小)=かんぼ作文

■奨励賞【スポーツ振興関係】

【小学生】空手/国分桃香(新庄)叶内史也(日新)伊藤希恵(日新)仙台士才(本合海)土田秀治(沼田)仙台充功(本合海)伊藤秀(日新)荒川聡実(日新)柔道/伊藤美由希(日新)【中学生】空手/土田ひかり(明倫)伊藤渚(日新)相撲/加藤慧(八向)新相撲/蒲倉千佳(明倫)ボウリング/越後裕哉(日新)【高校生】自転車/三嶋花子(新庄神室産業)ボクシング/柳谷久志(新庄神室産業)石川哲也(新庄神室産業)高橋悠貴(新庄神室産業)柏倉圭吾(新庄神室産業)田口一慧(新庄北)二戸和喜(新庄神室産業)佐藤正樹(新庄神室産業)陸上/荒木雅巧(新庄北定時制)阿部将美(新庄北定時制)伊藤健(新庄北定時制)荒木友喜(新庄北定時制)柔道/齋藤勇樹(新庄北定時制)【一般】ソフトテニス/大友喜久子(下金沢町)樋口敏子(昭和)高橋久美子(昭和)弓道/竹内憲(万場町)【団体】柔道/丹野柔道、新庄北高定時制柔道部空手/崇武館新庄支部バドミントン/山屋スポーツ少年団ミニバスケットボール/新庄リトルラビッツスポーツ少年団軟式野球/日新レッドスターズ

■奨励賞【教育文化振興関係】

【小学生】小野裕佳(泉田)=体験作文、芳賀大介(本合海)=スピーチコンテスト【高校生】佐藤唯(新庄南)=書道、伊藤真理(新庄南)=料理コンクール、高橋弘嗣(新庄北定時制)=写真、石原恵子(新庄北定時制)=書道【一般】須貝裕樹(農業大学校)=プロジェクト発表【団体】昭和小学校=教育実践活動、八向中学校PTA=優良PTA活動

■財団法人新庄市体育協会体育表彰

功労賞黒坂康二(小田島町)=野球の指導普及
殊勲賞【中学生】空手/伊藤渚(日新)土田ひ



▲新庄市体育表彰式(2月12日/ゆめりあ)

かり(明倫)新相撲/蒲倉千佳(明倫)相撲/加藤慧(八向)【高校生】柔道/齋藤勇樹(新庄北定時制)バドミントン/西田かおり(新庄北定時制)陸上/荒木友喜(新庄北定時制)阿部将美(新庄北定時制)ボクシング/田口一慧(新庄北)二戸和喜(新庄神室産業)佐藤正樹(新庄神室産業)高橋悠貴(新庄神室産業)柏倉圭吾(新庄神室産業)柳谷久志(新庄神室産業)石川哲也(新庄神室産業)自転車/三嶋花子(新庄神室産業)【一般】ソフトテニス/高橋久美子(昭和)大友喜久子(下金沢町)樋口敏子(昭和)弓道/竹内憲(万場町)【団体】陸上/新庄北高定時制陸上部柔道/新庄北高定時制柔道部 奨励賞【小学生】空手/土田秀成(沼田)加藤大貴(日新)仙台充功(本合海)土田秀治(沼田)国分円香(新庄)仙台士才(本合海)【団体】バドミントン/山屋スポーツ少年団ミニバスケットボール/新庄リトルラビッツスポーツ少年団空手/新庄市空手道スポーツ少年団柔道/丹野柔道スポーツ少年団

■第26回新庄市総合体育大会(1位のみ掲載)【剣道】小学4年生以下の部/男子中村聡司郎(新庄錬成会)女子安達香奈子(新庄錬成会)小学5年生以上の部/男子中村慎乃輔(新庄錬成会)女子小関陽子(新庄錬成会)中学生の部/男子草刈康太(新庄)女子工藤真衣(新庄神室産業)男子齋藤優(新庄北)女子今埜紗代(新庄北)一般/男子金沢優(新庄地区連盟)女子中島真理子(新庄南教諭)【ハンドボール】一般の部/航空電子HC高校生の部/新庄神室産業A【バレーボール】一般の部/男子北新会女子Mint中学女子の部/明倫家庭婦人の部/すずかけB【卓球】中学生の部/男子渡部宏次郎(日新)女子大場奈々絵(新庄)高校生の部/男子佐藤忍(新庄東)女子星川梨菜(新庄南)一般の部/男子芳賀透匡(リンクス)女子高橋瞳(リンクス)壮年の部/男子鈴木宏(南部卓球)女子五十嵐優子(新庄卓球愛好会) ■第43回かんぼ作文コンクール 日本郵政公社総裁賞 後藤未来(沼田小5年)

ら・せ

イベントや行政案内など
まちの情報を紹介するページです

シネマ・アベージュ最新映画情報

- ハウルの動く城/13:00～、15:40～
 - 北の零年/9:30～、18:10～
- ◎シネマ・アベージュ ☎28-8884

募集

短歌入門

- ▼対象 成人20人
- ▼とき 4月～18年3月の毎月第3土曜日
- ▼内容 基礎を学びながら短歌を詠む
- ▼講師 高橋美恵子さん
- ▼受講料 年4,000円
- ▼申し込み 3月22日(火)から

問 市民プラザ ☎22-4200

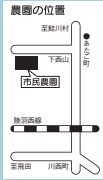
茶道教室

- ▼とき 4月2日(土)から毎月2回午後7時～9時
- ▼ところ わくわく新庄
- ▼内容 抹茶、煎茶の作法

市民農園入園者募集

野菜づくりに汗をかいて、収穫の楽しみを味わってみませんか。

- ところ 下西山地区
- 区画面積 1区画約50㎡
- 入園料金 1区画3,000円
- 申し込み 3月25日(金)まで



農林課にある所定の用紙で
◎希望者多数の場合は抽選となります。
詳しくは、農林課農林振興室へ。

☎内線261

「産直まゆの郷」

春彼岸市

- とき 3月13日(日)～20日(日)
午前9時30分～午後6時
- 内容 彼岸用花、彼岸向け食品、惣菜・漬物などの加工品、ハウス野菜、きのこなどの販売

旧節句のひな祭り

- とき 3月27日(日)
午前9時30分～午後6時
- 内容 節句用くぢら餅、蒸ようかん、花などの販売、食べ物屋台(焼きおにぎり・おでん)、甘酒サービスと花苗プレゼント
- ◎詳しくは、産直まゆの郷 ☎23-5007、農林課農林振興室 ☎内線261へ。

ママナビ インターネット講習会

- ▼申し込み 3月23日(水)まで
- 問 語らい長屋 ☎23-1434
- ▼とき ①3月23日(水)、②3月24日(木)いずれも午前10時～正午
- ▼ところ ばそこん寺子屋
- ▼内容 インターネットを楽しむための初心者向け講習
- ▼受講料 無料 ▼定員 各8人
- ▼申し込み 3月17日(木)まで
- ※無料託児あります。

問 新庄TCM ☎28-8319

中国語会話入門講座

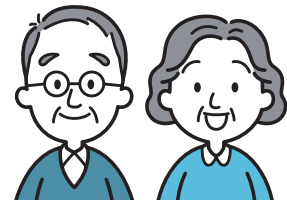
- ▼とき 4月18日～18年3月27日の毎週月曜日「初級」午後6時～7時、「中級」午後7時～8時
- ▼ところ 山形新聞・山形放送最北総支社(小田島町)
- ▼講師 高橋沙愛さん(中国吉)

在宅高齢者基礎調査 にご協力を

この調査は、福祉行政に役立たせるため毎年実施しています。ご協力をお願いします。

- 対象 一人暮らし老人世帯や老人夫婦世帯など
- 期間 3月22日(火)～4月10日(日)
- 内容 生活状態など
- 調査員 民生児童委員が訪問します

◎詳しくは、福祉事務所高齢障害支援室へ。 ☎内線552



林市出身)
▼受講料 月2,000円
問 最上地区日中友好協会事務局 ☎22-35800

韓国語講座

- ▼対象 どなたでも
- ▼とき 毎週水曜日午後7時～8時30分
- ▼ところ 市民プラザ
- ▼講師 海老名美愛さん
- ▼会費 月1,500円程度(テキスト代別途)

問 アンニョンサークル・阿部 ☎25-22800

第17回新庄市高齢者 友好の旅

- ▼とき 6月6日(月)～8日(水)
 - ▼泊3日
 - ▼行き先 伊豆大島
 - ▼料金 52,800円
 - ▼定員 先着90人
 - ▼申し込み 4月6日(水)まで
- 各クラブの会長または役員へ

労働基準監督官採用試験 (大学卒業程度)

- ▼受験資格 昭和51年4月2日～昭和59年4月1日生まれの人/昭和59年4月2日以降に生まれた人で大学を卒業または卒業見込みの人
- ▼受付期間 4月1日(金)～15日(金)
- ▼1次試験 6月12日(日)

問 新庄労働基準監督署 ☎22-0227

かんじきスノーシューで トレッキング

- ▼とき 3月27日(日)午前6時30分～11時
- ▼ところ 遊学の森(金山町)
- ▼内容 かた雪わたり、木工クラフト
- ▼参加費 800円
- ▼定員 30人
- ▼申し込み 開催日の1週間前まで

問 遊学の森 ☎64-33005

問 新庄市老人クラブ連合会 ☎23-4613



3月のお・知

催し
など

3月末まで開催中

「素晴らしい郷土遺産＝民具の世界その1」
◎詳しくは、歴史センターへ。☎22-2188
「雪調と民芸品の歴史」
「ぬくもりある手作り木工品展」
◎詳しくは、雪の里情報館へ。☎22-7891

はつらつクラブ発表会

市民プラザが高齢者向けに開催している
各種講座の活動成果を披露します。

はつらつ詩吟クラブ

●とき 3月15日(火)午前10時～

はつらつカラオケクラブ

●とき 3月16日(水)午前9時30分～
●ところ いずれも市民プラザ大ホール
◎入場無料です。詳しくは、市民プラザへ。

☎22-4200

春休み映画上映会

●「ワンピース オマツリ男爵と秘密の島」
10:00～、12:30～「スウィングガールズ」15:00～ ●とき 3月19日(土)
●ところ 市民文化会館大ホール
●前売券 一般1,300円、小中学生800円
◎詳しくは、新庄専門店会へ。☎22-6833

新庄まちなか“ひなめぐり”

ひなめぐりは家々を回りおひなさまを眺め
春の訪れを楽しむ新庄の風物詩。おひなさ
まを飾りますのでどうぞご覧ください。

●とき 4月1日(金)～3日(日)
●ところ 中心街の商店や旅館など約20件
◎詳しくは、新庄TCMへ。☎28-8319

ゆめりあで募集します

図鑑／もがみ体験館

使わなくなった図鑑(昆虫、生物、星座
など)を無償で譲ってください。いただいた
図鑑は標本箱とともに、たくさんの来館
者に利用してもらう予定です。(事前に必ず
連絡ください)

ストリートギャラリー展示作品

ゆめりあストリートギャラリー(東口連絡
通路内)のショーケースに展示する作品(絵
画、写真、陶器、織物など)を募集します。
◎詳しくは、ゆめりあへ。☎28-8888

お知らせ

電話加入権の公売

▼とき 3月28日(月)午前10時
30分(15分前に集合)
▼ところ 市役所第一会議室
▼持ち物 印鑑・免許証など
※当日中止の場合もあります。
☎税務課課税室 ☎内線147

住宅ローン「フラット35」

住宅金融公庫がバックアップ
する民間金融機関の住宅ロー
ンで最長35年間の長期固定金
利です。中古住宅の取得も対
象です。
▼融資限度額 最高5,000

万円 ▼保証料・繰上返済手
料0円

☎22-2227-5554

キャリア・コンサルタント 養成講座

▼対象 人事労務関係・職業相
談業務担当者など ▼とき 4
月9日～7月30日の原則毎週
土曜日午前9時～午後5時
(全19回) ▼ところ 雇用・能力
開発機構山形センター(山形
市) ▼受講料 96,000円

▼定員 先着20人

☎23-647-0303

法定外公共物の 取り扱いが変わります

4月から法定外公共物(里
道・水路・ため池など)の管

☎23-647-0303

山形財務事務所管財課

☎23-641-5177

運転免許センターが 生まれ変わります

5月2日(月)から運転免許セ
ンターが移転し、山形県総合
交通安全センターとして開業
します。新庄警察署での免許
更新手続きは従来どおりです。
▼窓口業務の変更 ①平日の
更新受付時間を午前と午後
に拡大、②日曜日の更新免許
証の即日交付など
☎23-655-2150

山形警察本部運転免許課

理・処分を担当する機関が変
わります。

▼管理機関 法定外公共物と
して機能を有する場合＝市、
機能を喪失している場合＝山
形財務事務所

固定資産に関する情報を開示します

縦覧帳簿の縦覧

土地・家屋価格等縦覧帳簿により自
己資産以外の評価額も見ることで
きます。なお、プライバシー保護のため所
有者の氏名、住所、課税標準額は記
載されません。縦覧できる人は、市内に
土地・家屋を有する納税者です。
○期間 4月1日(金)～5月31日(火)
平日午前9時～午後4時(手数料無料)
○ところ 税務課課税室(本庁舎1階西)
○必要なもの 免許証・保険証など身分
を証明できるもの

固定資産課税台帳の閲覧

自己資産の情報を確認できるとも
に、借地・借家人なども使用・収益部分
を閲覧できます。
閲覧できる人は固定資産の所有者・
納税義務者です。それ以外の方が閲覧
する場合は、代理人選任届が必要です。
(縦覧期間中の4月1日～5月31日は無
料です)
◎詳しくは、税務課課税室資産税担当
へ。☎内線144・145

国民健康保険証の異動手続きを忘れずに

就職または退職したことで、国民健康保険を脱退・加入した場合や遠隔地で国
民健康保険証を使用している学生が卒業した場合は、異動の届け出が必要で
忘れずに手続きしてください。
○受付 市民課 ○詳しくは、健康課国保医療室へ。☎内線512・517



「将来を見すえた人づくり」

市の長期教育プラン「いのち輝く新庄もみの木教育プラン21」は、平成十七年度から二十六年度までの十年間の計画です。評価と改善を取り入れながら充実した取り組みを目指します。今回は、今後十年の教育の視点を紹介します。

これまでの教育から引き続きべき課題

市はこの十年、「命の尊厳を根底にすえた心の教育の充実」を最大の教育課題として取り組んできました。「生命」を大切にすることは人として最も大切なことであり、そこに根ざした心の教育は、今後引き継ぐべき大切な課題です。

現在、教育改革が進められさまざまな答申が次々と出されています。「21世紀を切り拓く心豊かでたくましい日本人の育成」に向け、各種の答申を踏まえて課題を整理する必要があります。特に、子どもたちの学力や体力の向上、市民の生涯学習の振興や総合型スポーツクラブの設置などによる生涯スポーツの環境づくりは、住みよい町づくりにとって欠かさない課題です。

豊かな学習社会の構築を願って

少子・高齢化、高度情報化社会など、社会・経済構造が変化する中、常に新しい知識や技術の習得

が求められています。また、社会の成熟化に伴い、心の豊かさや生きがいを求める人が増えてきています。そのため、生涯学習の基盤を整備することは、学習者の自己実現だけでなく、青少年の健全育成や高齢者の社会参加などにとって重要です。

小・中学校では、生涯学習を進めるうえで基礎となる能力を育成していきます。また、「開かれた学校づくり」を推進し、学校をはじめさまざまな教育関係機関が連携し、お互いの交流の中で夢のある「まなびのまち」づくりを推進します。

少子・高齢化社会を見すえて

市でも少子化（合計特殊出生率1.76）、高齢化（高齢化率23.2%）が進んでいます。少子化は、親密なふれあいの中で個性や能力に応じた教育ができる好機である反面、さまざまな人と交わる体験や良い意味での競争の機会が減少し、親の過干渉など、マイナスの影響も心配されます。



▲祖父母参観でのなしたんご飾り(北辰小)

そこで、家庭こそが人格形成にとって最も大切な場であるとの認識のもと、子育てに対する不安を取り除き、子どもを「地域の宝」「地域の一員」として育ていく体制づくりに努めます。また、学校の適正な規模について検討を進めます。

安全な教育環境の整備を図る

「食」はいのちを育む原動力です。若い人たちの不規則な食生活や偏った栄養摂取などは、心と体の健康を脅かし、大きな課題となっています。食に関する指導の充実を図り、学校給食のあり方について検討を進めます。

また、近年、子どもたちの登下校時の事件・事故が増していることから、子どもたちが毎日安心して通学できる環境づくりに努めます。

(新庄市教育委員会)

地名伝説

木葛山・本蔵山と葛麓

日本国土の基本測量図を作成する建設省の国土地理院は、明治初年に内務省地理局として設立された。現在一般に使用されている地図は、明治期ごろに調査測量されたものが基本になっていると考えられる。

新庄・最上地方の本格的な地図としては、二十万分の一の地図が明治二十七年十月に、五万分の一は、大正二年のものが最も古いようである。ちなみに、明治二十七年、全国八番目の基線(三角測量の基準となる線分)が新庄に設置され(塩野原基線)、その三角点(一等基点)が現在も仁田山内と昭和地内に残っている。当時のもので現存しているものは少なく、貴重な史跡のひとつである。

ところで、大正二年の地図では、本蔵山が現在のところ「本蔵山」と表記されているが、古くは、地元では「木葛山」と呼ばれており、この明治から大正期の地図作成の折、変更されたのではないかとと思われる。新聞などでは、例えば大正十五年になっても「海拔三千八百尺の木葛山突破 新庄のスキーマンが」といつ見出しのよう、「木葛山」と表記されており、一般にはまだまだ

～図書館はオアシス～

BOOKS NOW!

今月のおすすめ

『きみに読む物語』

ニコラス・スパークス 著

永遠に一人の女性を愛する男性の姿を、詩的な筆致でつづった究極の純愛小説。全米250万部のベストセラー。映画化され2005年新春、日本公開と同時に話題沸騰。シニア・シルバー世代の男性に感動の涙を流させたラブストーリー。



● 今月のテーマ展示 ●

『郷土出版物』

今月は、郷土出身作家、研究者、在郷作家による出版物の展示です。「作品は読んだことがあるけれど、地元にはゆかりの人とは知らずにいた」ということもあるのではないのでしょうか。

ぜひお父さんと一緒にご覧ください。郷土作家の作品を見て子どもたちが郷土に誇りを持ってくれればと思います。

新着図書

- ▲ ようちえんのいちにち …… ふじたひおこ
- ▲ そばせい(落語絵本9) …… 川端 誠
- ▲ 砂漠の王国とクローンの少年 …… ナンシー・ファーマー
- ▲ 最新ロボット図鑑2005 …… PHP研究所
- ▲ どどここ ここ・ここ …… 五味 太郎
- ▲ 僕が行く道 …… 新堂 冬樹
- ▲ ビーコとサワコ …… ビーコ
- ▲ 祝言(御宿かわせみ傑作選2) …… 平岩 弓枝
- ▲ ダブルプレー …… ロバート・B・パーカー
- ▲ 司馬さんは夢の中 …… 福田みどり
- ▲ 「血脈」と私 …… 佐藤 愛子
- ▲ ももこの21世紀日記 N'04 …… さくらももこ
- ▲ 豚を盗む …… 佐藤 正午
- ▲ この子はこの子でいいんだ。私は私でいいんだ。
—これで、子どもの未来が輝く— 明橋 大二
- ▲ 陸奥・出羽・斯波・最上一族 …… 七宮 津三
- ▲ 天馬、翔ける 上下巻 …… 安部龍太郎
- ▲ コイノカオリ …… 角田 光代
- ▲ 年金月21万円の海外暮らし実現ガイド …… 立道 和子
- ▲ もっと、生きたい …… Yoshi
- ▲ 瑠璃の契り(旗師・冬狐堂) …… 北森 鴻
- ▲ モノ語り一題二話 …… 太田垣晴子
- ▲ ギネス世界記録 2005 …… クレア・フォルカド
- ▲ 剣客商売 一濡れぎぬ …… 鳥羽 亮
- ▲ サラリーマンババの育児は楽しい! …… 中根 治夫
- ▲ 白の咆哮 …… 朝倉 祐弥
- ▲ 職業・柔道家 …… 吉田 秀彦
- ▲ 工学部・水柿助教授の逡巡 …… 森 博嗣

- 開館時間 午前10時～午後6時
- 休館日 毎週月曜日、祝日、年末年始

伝えていこう ボランティアで学ぶ楽しさを!

～最上地区ヤングボランティア交流会「伝ボラ」～

最上地区でボランティア活動している高校生の交流と今後の活動への意欲向上と方向性を探るために「最上地区ヤングボランティア交流会」が開催されました。この取り組みは、四年前から最上教育事務所が青少年の社会力を高めることを目的に年二回開催されているものです。二回目の交流会は、高校生が主体となり自発的に実行委員会をつくり「伝えていこうボランティアで学ぶ楽しさを」をテーマに自ら企画し開催しています。

今回は三十一人が参加。ボランティア活動の原点として福祉について学びました。車いす・盲人・老人の各グループに分かれ、それぞれの視点から問題点を出し合い、その解決策や改善方法などを話し合いました。その後、社会福祉協議会の社会福祉士の指導を受けながら、車いす体験や目かくしをしての視覚障害者体験、体の自由を拘束する老人体験スーツを着ての高齢者疑似体験と、車いすの介助について実習しました。参加した高校生ボランティアからは「いろいろなボランティアをする側である私たちが、される側になろうという企画がありました。が、経験者にしかわからないことを違う視点から感じ取ることができたと思います。また、このよ



▲指導を受けながら車いす体験

うな企画を通して知らない人たちが交流できたことで、最上地区での高校生ボランティアがより活発になってくれたらとてもうれしく思います」と感想が聞かれ、相手の側に立ったボランティアへの意欲が感じられました。

その名のほうが通じていたのである。『木葛山』とは、その名のとおり葛のたくさん咲き乱れる山だったのではないだろうか。ちなみに、郷土の大正デモクラシーの象徴である嶺金太郎の創刊した郷土雑誌『葛麓』は、その葛の山の麓である新庄の里の意味であるし、小磯国昭の雅号の「葛山」も木葛山のことである。このように、地名は大昔から変わらないものに限らず、歴史上幾度か改称される場面に遭遇してきている。現在の、市町村合併による新市町村名などもその例であるが、地名がその地の歴史を背負っていることを再認識していただきたいと願う。

※ご愛読いただいた「地名伝説」シリーズは、ひとまず今回で終了させていただきます。(市史編さん室)

まつりを支える人々

～新庄まつり250年祭シリーズ～

故郷を想うでっかい絵の図



故郷を離れると、新庄まつりほど郷愁をさそうものはないという。歴史センターに常設展示された、画家・近岡善次郎氏も、新庄をこよなく愛した一人である。数多くの新庄の風土を描いているが、文化会館のどん帳の絵もその一つである。もみの木と山車との大胆な構図と豊かな色彩の融合は、有無を言わせぬ迫力でせまってくる。

しかし、原画を見て驚いた。一尺×三尺ほどの小さな作品なのに、緻密と丁寧とに尽きる絵であった。銀紙のベースにさらに金紙を配し、なんと、小さく刻んだ多色の紙片を無数に配していた。その一枚一枚に、故郷新庄を想う心が満ちていた。あるいは、故郷を離れた人たちみんなの、想いのあったけが、どん帳になった、とも…。

ふと、画面からお囃子と小若のかけ声が聞こえた。
(絵と文 加藤良哉)



新庄まつり250年祭をPR(2月12日/雪まつり特設ステージ)

2月号の正解は「③ラジオなどで正しい情報を確認する」でした。広報2月号を読んだ感想から紹介します。「まつりを支える人々」を読むたびに、母がわたしにいろいろ教えてくれた新庄まつりの由来を改めて思い出します。接引寺のお地藏さんのお話しも「なぜ口にあんこをつけているのか」母に聞いたことがありました。代々絶やすことなく、新庄まつりの話を語り継いでいってほしいと思います」

3月号では、5人に図書券をプレゼントします。

かむてん クイズ



「かむてん」は「神室の天狗」をイメージして新庄市出身の漫画家・富樫義博さんに描いていただいたキャラクターです。さて問題です。冬期間の雪の処理として正しいのはどれでしょう。①敷地内の雪は道路に出しておく、②流雪溝には機械で投雪しない、③雪を投げ終わったら流雪溝にふたをしない/はがき・ファクス・eメールに「①答え、②住所、③氏名、④年齢、⑤電話番号、⑥広報紙を読んでの感想など」を書いて、〒996-8501新庄市企画調整課市民協働広報室あて、3月25日まで応募してください。ファクス 22-0989/eメール kikaku@city.shinjo.yamagata.jp

1月末現在の新庄人

41,284人 (41,501人)

女 21,505人 (21,608人)

男 19,779人 (19,893人)

世帯数 13,490世帯 (13,443世帯)

1月の異動

出生 33人 (29人)

死亡 38人 (40人)

転入 59人 (65人)

転出 60人 (77人)

※()は1年前の住民基本台帳

表紙
の
写真

冬も元気
いっぱい!

～第34回新庄雪まつり～

子どもたちに雪国に生まれた誇りと夢をと始められた新庄雪まつり。今年のテーマは「ふみだせ 夢のつもるまち」。すもう大会、雪合戦、かるた取りなどの雪上運動会に子どもたちは元気いっぱい。夜には花火も打ち上げられ、新庄まつり250年祭をアピールするステージが行われました。



再生紙100%と環境にやさしい大豆油インキを使用しています